

九州大学附属図書館における学習・研究支援

星子, 奈美
九州大学附属図書館学術サポート課学習・研究支援係

<https://hdl.handle.net/2324/2344589>

出版情報 : 2019-09-12. Kyushu University Library
バージョン :
権利関係 :

2019年9月12日(木)

第8回 中国・四国・九州・沖縄地区

大学図書館職員フレッシュパーソンセミナー 講義2

九州大学附属図書館における 学習・研究支援

星子 奈美

九州大学附属図書館 学術サポート課 学習・研究支援係

toesupport@jimu.kyushu-u.ac.jp

本講義の概要

1. 学習・研究支援を取り巻く状況の変化

2. 九州大学の実践事例

- 参考) 兵藤健志, 渡邊由紀子. 図書館職員をハブとした情報リテラシー教育の展開 —九州大学の実践をもとに—. 大学図書館研究. 2017, 105, p.50-60.

<https://doi.org/10.20722/jcul.1469>

3. 学習・研究支援系の現状と課題

※このスライドは、渡邊由紀子「大学図書館による情報リテラシー教育の展開」
(令和元年度前期「統合新領域最先端セミナー」, 2019年5月) の内容を再構成しました

1. 学習・研究支援を取り巻く 状況の変化

図書館利用教育と情報リテラシー教育

図書館利用教育

- 日本図書館協会（JLA）「図書館利用教育ガイドライン」
<https://www.jla.or.jp/portals/0/html/cue/gl-a.html>
- 定義「すべての利用者が自立して図書館を含む情報環境を効果的・効率的に活用できるようにするために、体系的・組織的に行われる教育」
- 5領域の区分
 - ①印象づけ ②サービス案内 ③情報探索法指導
 - ④情報整理法指導 ⑤情報表現法指導

図書館利用教育と情報リテラシー教育

情報リテラシー (Information Literacy)

1989年 全米図書館協会 (ALA)

「情報リテラシー最終報告書」による包括的な定義*

2015年 米国大学・研究図書館協会 (ACRL)

「高等教育のための情報リテラシーの枠組み」を提示**

*American Library Association. Presidential Committee on Information Literacy: Final Report. 1989.

<http://www.ala.org/acrl/publications/whitepapers/presidential>

**Association of College and Research Libraries. Framework for Information Literacy for Higher Education.

2015. <http://www.ala.org/acrl/standards/ilframework>

日本の大学図書館における 情報リテラシー教育の発展

- 1996年：学術審議会「建議」*
 - －「情報リテラシー教育への支援」
全国の大学図書館で情報リテラシー教育支援が盛んに
- 2000年代以降
 - － 大学改革や教育改革の流れ
情報リテラシー教育への関心が教員側からも高まる

*学術審議会. "大学図書館における電子図書館的機能の充実・強化について（建議）". 文部省.
<http://www.janul.jp/j/documents/mext/kengi.html>

アクティブラーニングの推進

- 高等教育の質的転換により、**アクティブ・ラーニング**の推進が大学に求められる
 - 「アクティブ・ラーニングには汎用的技能のひとつである情報リテラシーの育成が欠かせず、また、情報リテラシーはアクティブ・ラーニングを通じて向上していく」*
- 初等中等教育においても「主体的・対話的で深い学びの実現」が求められる**

*国立大学図書館協会教育学習支援検討特別委員会. 高等教育のための情報リテラシー基準 2015年版. 2015, 26p. www.janul.jp/j/projects/sftl/sftl201503b.pdf

**平成29・30年改訂 学習指導要領、解説等
www.mext.go.jp/a_menu/shotou/new-cs/1384661.htm

アクティブラーニングの推進

- アクティブ・ラーニングを効果的に支援するためには、
図書館が従来実施してきた利用者教育の延長としての
情報リテラシー教育だけでは不十分
 - 「文献検索の講習会にとどまらず、情報リテラシー教育を
大学の教育改革に沿った学習支援へ転換させる必要がある」*
 - 「図書館の学習・教育支援機能を考える際に、
情報リテラシー教育の視点だけでなく、学習の場としての
図書館や、学習を支援するコレクションの視点が欠かせない」**

* 茂出木理子. 学習支援としての情報リテラシー教育：これまでとこれから. 大学図書館研究. 2014, 100, p.53-64.

**米澤誠. 学習・教育基盤としての図書館. カレントアウェアネス. 2008, 296, p.23-28.

政策的な課題

- 文部科学省・学術情報基盤作業部会
「大学図書館の整備について（審議のまとめ）
－変革する大学にあって求められる大学図書館像－」
(2010年)
 - 大学図書館に求められる機能・役割
 - > 学習支援及び教育活動への直接の関与
 - 大学図書館職員に求められる資質・能力
 - > 学習支援や教育への関与における専門性

http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/gijyutu/gijyutu4/toushin/1301602.htm

政策的な課題

- 文部科学省・学術情報委員会「学修環境充実のための学術情報基盤の整備について（審議まとめ）」(2013年)*
 - アクティブ・ラーニングの推進等により教育の質的向上を図るためには、その場所・ツールとなる学術情報基盤の整備が極めて重要
 - コンテンツ・学習空間・人的支援の3要素の有機的な連携が重要

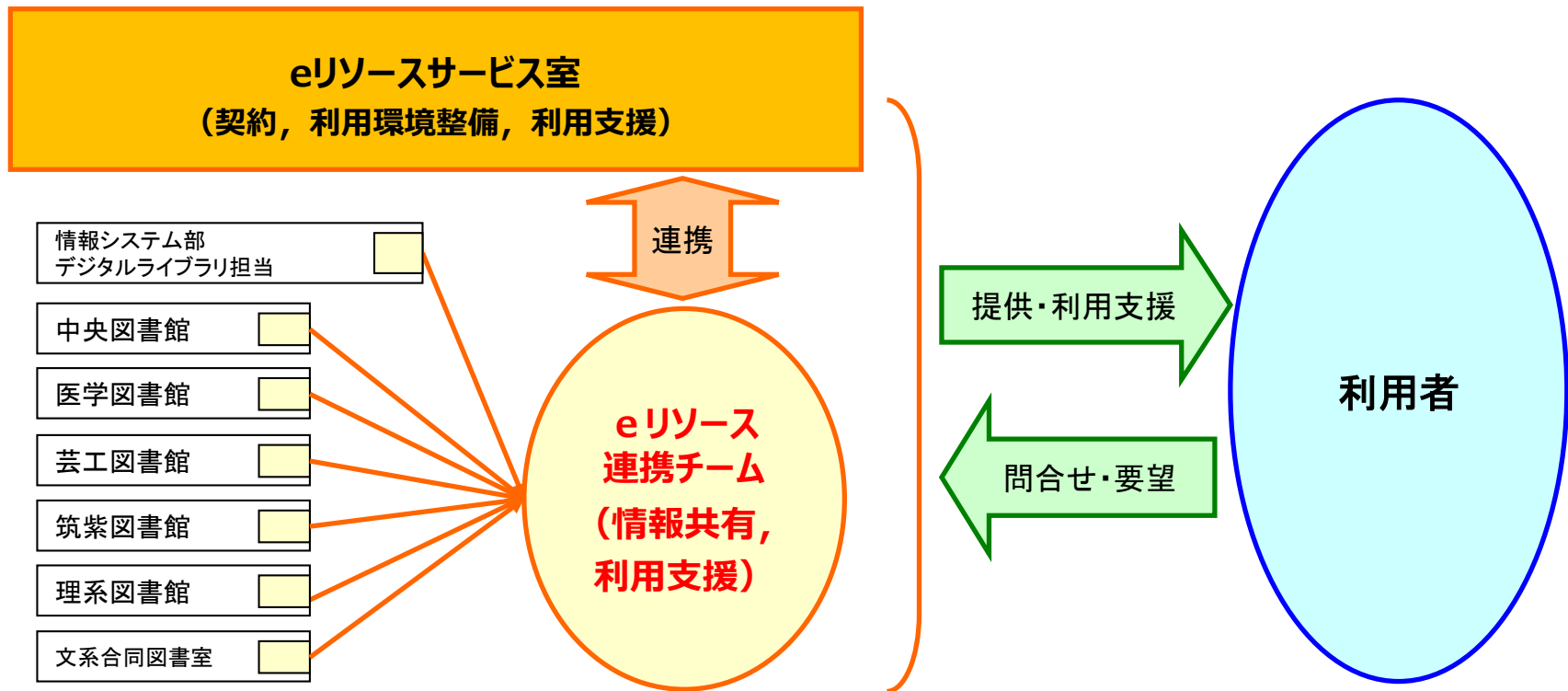
http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/gijyutu/gijyutu4/031/houkoku/1338888.htm

2. 九州大学の実践事例

情報リテラシー教育の変遷

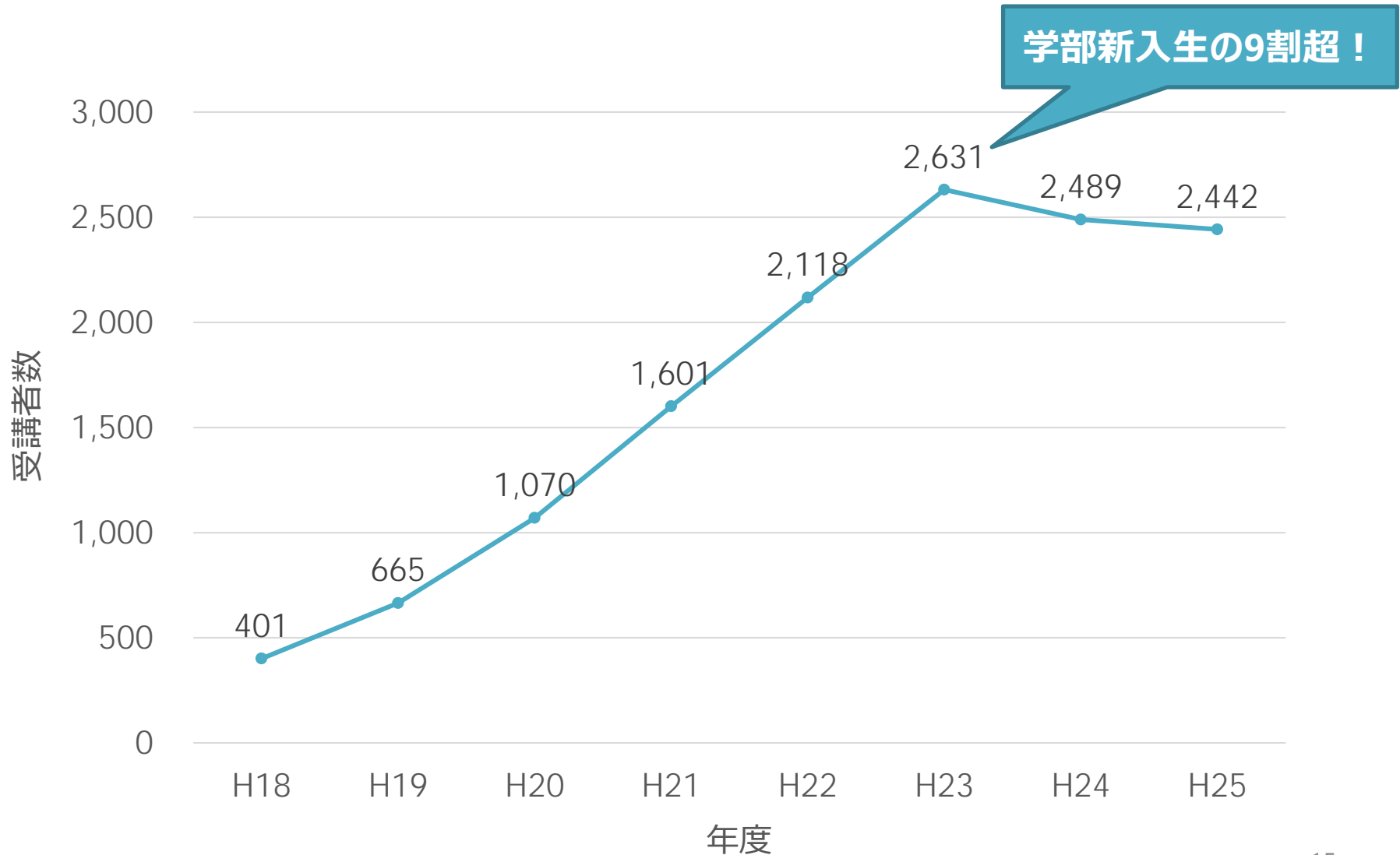
- H13(2001)年度～
全学的な情報リテラシー教育活動を組織的に開始
 - 「情報検索講習会」
 - 図書館企画／オンデマンド
- H18(2006)年度～
全学教育科目「コアセミナー」の講義時間を使い
初年次教育の授業と連携した講習会を開始
 - 「新入生図書館ガイダンス」→「大学図書館活用セミナー」
- H22(2010)年度～
講習内容の質向上へ
 - アンケート調査実施，インストラクショナル・デザイン導入，
学生アシスタント活用，クlicker試行

eリソース連携チームによる全学体制

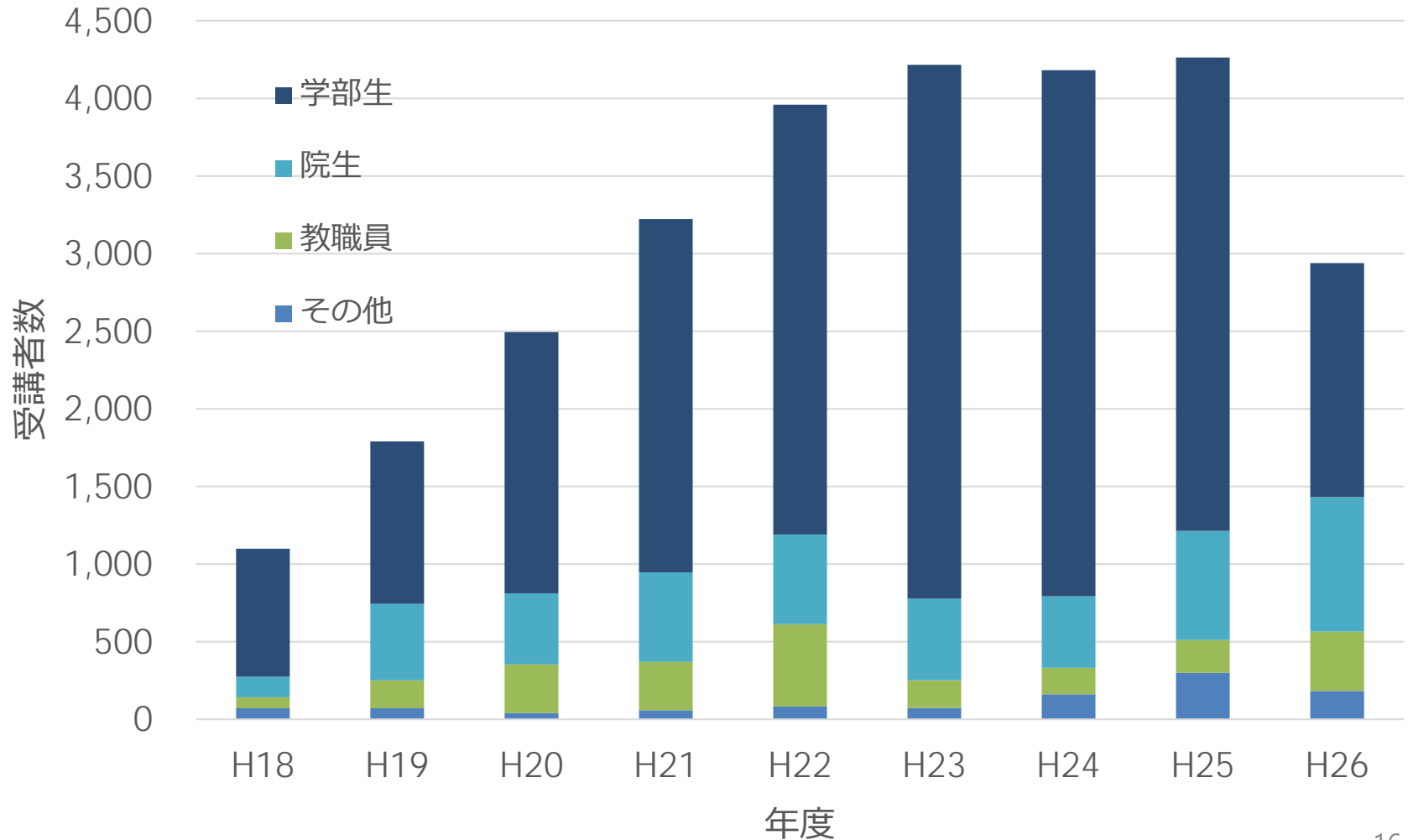


H20～H30年度 図書館が教育・学習支援を全学的に展開する際の基盤の一つ

大学図書館活用セミナー受講者数の推移



講習会の身分別受講者数の推移



アクティブ・ラーナー育成への転機

- H26(2014)年度～基幹教育院が開発した「**基幹教育**」の導入
 - 全学教育科目「コアセミナー」の廃止
 - 図書館は学習・教育支援の計画練り直しを迫られる
- 九州大学固有の戦略
 - グローバル化, キャンパス統合移転

→新中央図書館を核として, キャンパス移転完了後の
附属図書館全体の学習・教育支援体制を再構築

学内プログラムを通じた体制作り

- 教育の質向上支援プログラム(EEP: Enhanced Education Program)の図書館プロジェクト
 - H21～22年度
電子・オンライン教材の作成支援プログラム
 - H23～24年度
ICTによる自律的学習・教育体制の構築
 - H25～26年度
大学図書館による自律的学修支援体制の構築
 - H27～29年度
教育の国際化に対応した学修支援環境の構築

▶ これまでの実績 ◀

■ 九大の新たな百年に向けて定められた“目指す姿と行動計画”

- | | | |
|----------------------|-----|-----------------------------------|
| 3. アクティブ・ラーナーを育成する大学 | ・・・ | 生きた学問の体験／主体的な知の体系化／学習プロセスの重視 |
| 9. 知の蓄積と継承・発信を推進する大学 | ・・・ | 学術情報基盤の強化／知の体系化と活用／知の蓄積と発信／知の連携拠点 |

学術情報基盤を活かしたアクティブ・ラーナーの育成を目指して・・・

H25-26年度EEP：大学図書館による自律的学修支援体制の構築

- | | |
|-----------------------------|----------------------------|
| 1. 学生との協働による学修支援プログラムの充実と発展 | 5. 電子教材の拡充と利用促進 |
| 2. 自律的学修支援を推進する人材開発 | 6. ライブラリーサイエンス専攻における教育との連携 |
| 3. 基幹教育との連携 | 7. ウェブサイトによる成果の逐次発信 |
| 4. 効果的な学修支援を推進するための各種調査 | |

図書館学習サポーター（Cuter）との協働

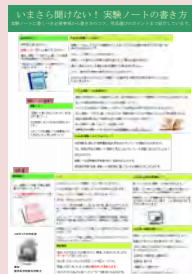
基幹教育との連携

相談デスク



中央図書館に加えて、伊都図書館・嬰鳴天空広場にもCuterの相談デスクを設置。年間相談件数600件以上。

学習ガイド



Web上の学習ガイド集Cute.Guides。Cuter作成ガイドが50点以上あり。最も人気のガイドは月間4000アクセス超を記録。

交流イベント



図書館に学びの雰囲気を生み出すため積極的にイベントを開催。学際交流イベント「Quricon」、図書紹介展示「Cuter本棚」など。

Cuterの能力育成

業務分析に基づいて、Cuterに必要な能力を特定し、研修を実施。

講習会（ライティング支援）



カリキュラムの進行に応じ講習会を実施。Cuterは、「レポートの書き方講座」で講師を務め、「1年生向けプレゼン講座」でモデルプレゼンを披露。

ゲーム教材



図書館活用に関する初年次学生向けのゲーム教材を開発。モニター調査により有効性を確認。

課題文献コーナー



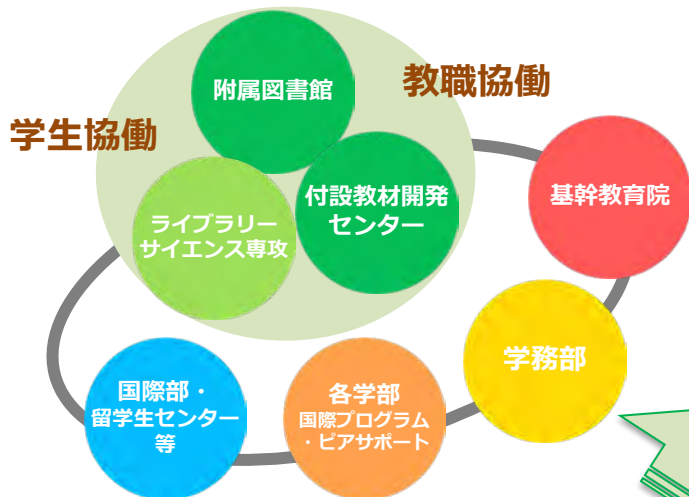
伊都図書館に基幹教育科目関連図書コーナーを設置。

「アクティブ・ラーナーへの第一歩」



基幹教育院発行「アクティブ・ラーナーへの第一歩」を基幹教育院の教員と協働で編集。

▶ H27-29年度の取組 ◀

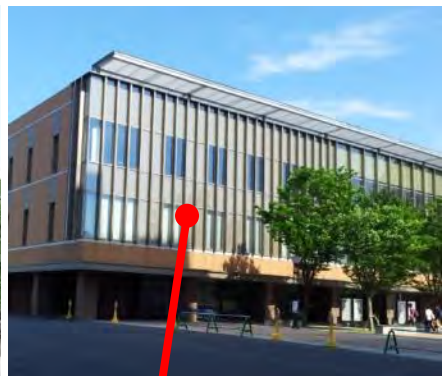


新中央図書館（国際化拠点図書館）



H28.10 I期開館 H30.10 全面開館

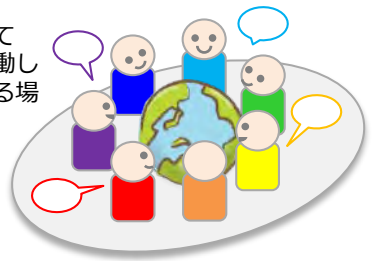
伊都図書館



H28.4～
国際交流サロン(仮称)
(約170㎡)

H28.10～
アクティブラーニング
スペース (約1,000㎡)

コンテンツと人的支援を活用して
日本人学生と外国人留学生が協働し
創造的に知識をアウトプットする場



新中央図書館（国際化拠点図書館）を
核に附属図書館全体の
学修・教育支援体制を再構築

グローバルな視野を持った
アクティブ・ラーナーの育成²⁰

- 国際化拠点図書館の開館に向けた図書館学習サポーター事業の推進**
 - 中央図書館、伊都図書館、医学図書館での活動
 - 芸術工学図書館、新中央図書館（国際化拠点図書館）への拡充
 - Cuter育成のための電子教材の開発
 - 図書館TAとしての位置付けの確立
- 教育の国際化を支えるコンテンツ整備体制の構築**
 - 日本人学生や外国人留学生との協働による選書の仕組み作り
 - 電子ブックの活用促進策の検討
- 教育の国際化に対応した図書館利用教育の拡充**
 - 新入留学生向け図書館ツアー等のスタートアップサポートの充実
 - 日本語・英語での図書館活用スキル習得のための電子教材開発
 - 各学部・学府の国際コースおよび国際教養学部（仮称）との連携に向けた調査
- 基幹教育支援の拡充**
 - レポートの書き方講座の拡充および電子教材化
 - アカデミックライティングやプレゼンテーションのスキル習得のための支援強化
 - M2B (Moodle / Mahara / Booklooper) との連携
- 学修支援を推進する人材育成**
 - シンポジウムや研修会への参加（教職員/Cuter）

図書館の活動への評価

- 「教育の質向上支援プログラム(EEP)」事後評価

- 「A 期待どおりの成果が得られている」

- EEPによる取り組み全体の中でも特に高い評価

- 外部評価

- 平成29年度に実施した外部評価において高い評価

評価者：

永利和則先生（福岡女子短期大学教授，元福岡県小郡市立図書館長）

竹内比呂也先生（千葉大学副学長，附属図書館長，アカデミック・リンク・センター長、大学院人文科学研究科 教授）

- ✓ 大学院生からなる図書館TA（Cuter）と図書館職員との協働による、幅広く高度な教育学習支援は、全国的にも先進的な事例である。
- ✓ 特に、CuterがTAとして学内の教育制度に組み込まれている点は、外部からも高く評価されている。

3. 学習・研究支援係の 現状と課題

学術サポート課の新設

- キャンパス移転後の図書館組織再編（2018年10月）
- 課長（1名） + 学習・研究支援係（3名）
- 事務分掌
 1. 図書館の情報リテラシー教育支援に係る講習会の企画調整
 2. 図書館における学生協働による教育支援業務の企画調整
 3. 学術情報資源を用いた研究支援に係る企画調整
 4. 図書館が行う教育支援に係る図書館職員の人材育成
 5. その他

ポストEEP／ポストキャンパス移転を担う体制

組織再編による担当業務の変化

2018年10月



講習会の企画調整

- 全学的な講習会の企画
- Backlogを用いた連絡調整
- 他キャンパスへの講師派遣
- 日本語および英語での実施

平成30年度 開催回数／受講者数
(全館合計)

- 図書館企画 132回／1,762名
- オンデマンド 54回／3,763名
- 合計 186回／5,525名



図書館TA（Cuter）業務の企画調整

平成31年4月1日現在（カッコはうち外国人留学生の人数）

計18名（5名）

人文科学府1名（1名）

地球社会統合科学府 2名(1名)

法学府 1名（1名）

人間環境学府 1名

システム生命科学府 2名

医学系学府 1名

薬学府 1名

工学府 2名

芸術工学府 4名(2名)

システム情報科学府 1名

生物資源環境科学府 2名

多様な学府から国際志向の強い日本人学生、
および、留学生を積極的に採用



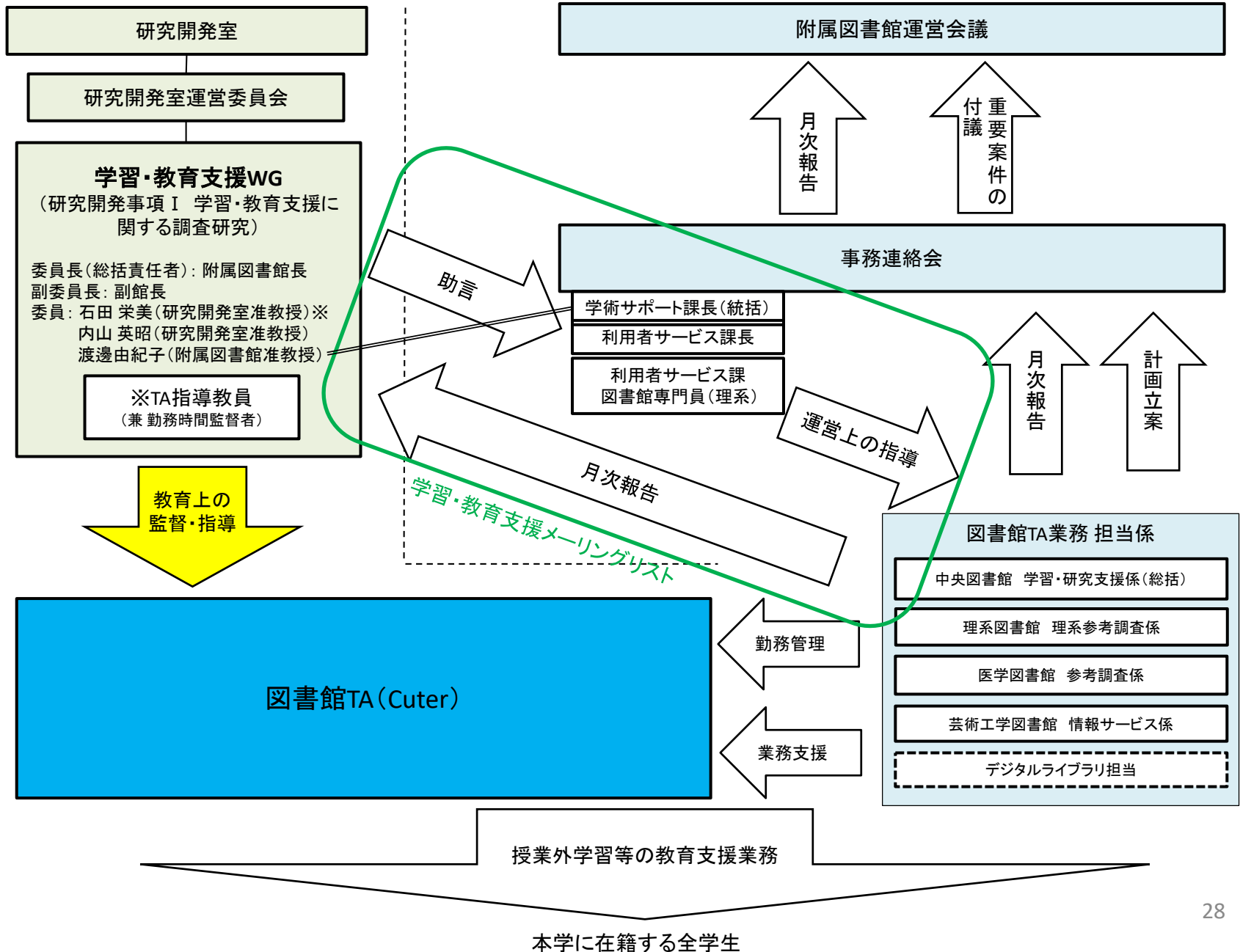
図書館学習サポーターから図書館TAへ

- H24年3月～ **図書館学習サポーター(Cuter)**
- H27年12月
「九州大学ティーチング・アシスタント実施要項」改正
 - Cuterが全学生を対象とした授業外学習等の教育支援業務を行うTAとして正式に位置付けられ，大学の教育制度の中に組み込まれた

図書館TA (Cuter) に改称

- R1年10月 九州大学の新TA制度開始
 - 学内TA用eラーニング教材を図書館職員とCuterが協働で作成
 - 図書館TA(Cuter)は、Advanced TA (ATA) の位置づけに

図書館TA(Cuter)の指導体制 (H30年10月～)

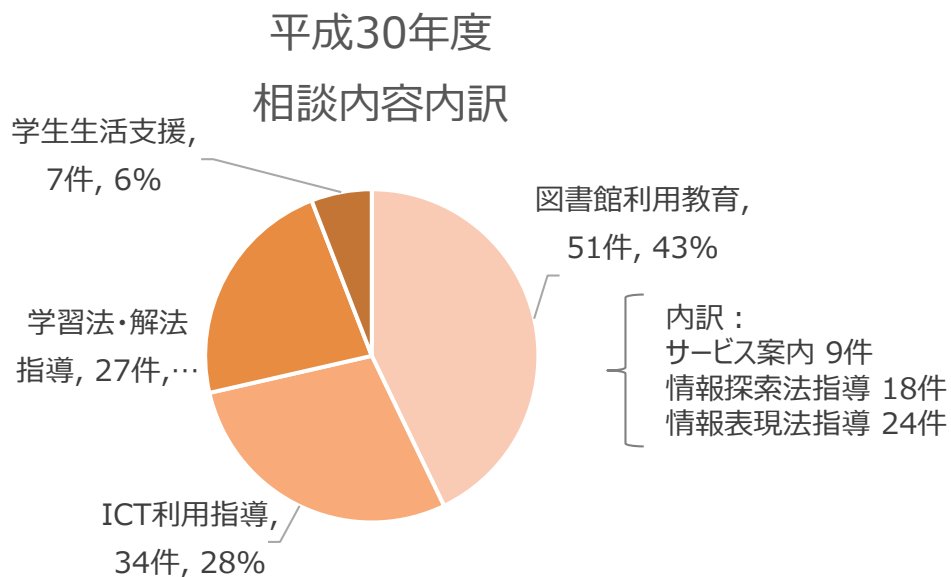


図書館TA(Cuter)の業務

1. 学習相談デスク

- 中央図書館、理系図書館、芸術工学図書館にデスク設置

- 平成30年度の相談件数 119件
(例年は300件以上の相談に対応)



図書館TA(Cuter)の業務

2. 講習会

図書館TA(Cuter)が教材作成、講師を担当し、基幹教育を支援

□ 1年生向けレポートの書き方講座 前期のみ

- 平成31年4月22日（月）～4月26日（金）
- 8回実施 539名受講（うち学部1年生 530名）

□ 1年生向け実験レポート講座（前期）前/後期

- 令和元年5月7日（火）～5月13日（月）
- 6回実施 119名受講（うち学部1年生117名）

□ 1年生向けプレゼン講座 前期のみ

- 令和元年6月24日（月）～28日（金）
- 5回実施 97名受講（うち学部1年生 93名）



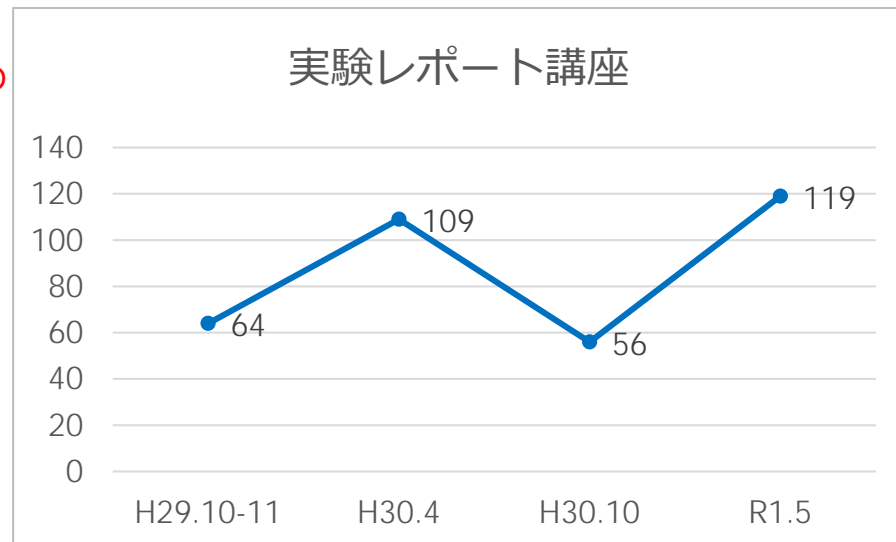
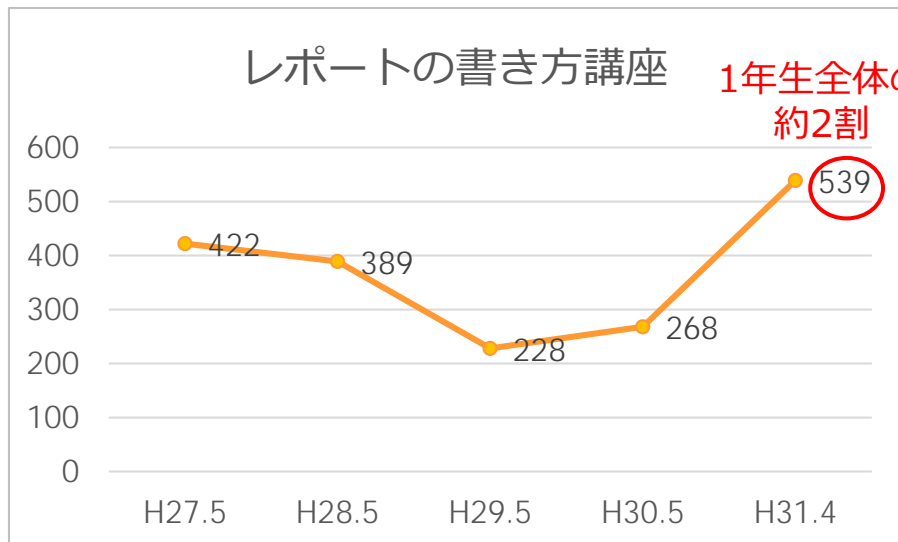
レポートの書き方講座では定員100名の教室が満席に



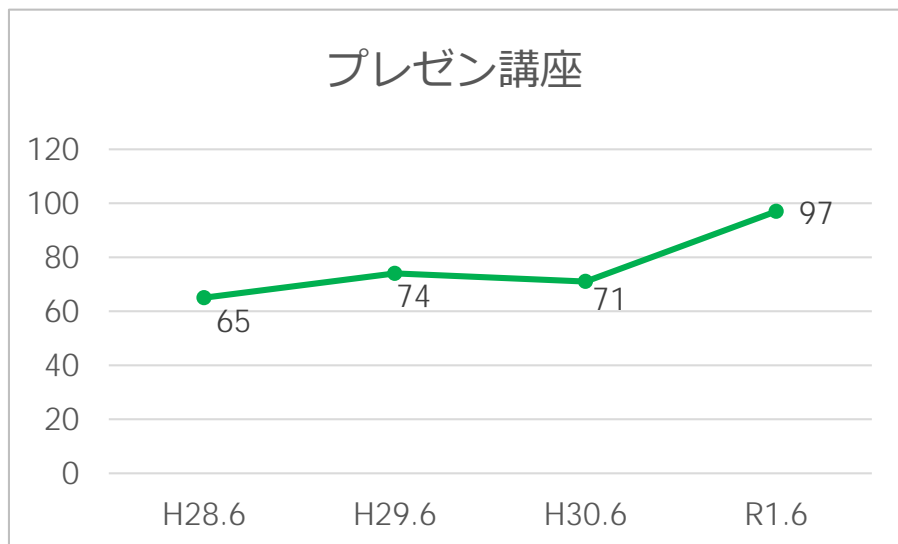
講座ではグループワークも採用

図書館TA(Cuter)の業務

2. 講習会



※実験レポート講座は、前期・後期の年2回開催



**令和元(平成31)年度は
すべての講座で
過去最大の
受講者数を記録**

図書館TA(Cuter)の業務

3. 学習ガイドの作成

- Web上の学習ガイド Cute.Guides
- Cuterによるガイド総数：125件/173件（H31.3.31時点）
- 図書館TA(Cuter)各人の専門分野や興味関心を生かした多様な内容

- 毎年度末に
Cute.Guides 大賞を選定
(平成30年度)
- 最優秀賞『英語論文の読み方』
 - 優秀賞『映画の都ハリウッドへの道
(映画講座Part2)』
 - 佳作『薬とあなたに相性がある理由』

The screenshot shows the Kyushu University Library website with a guide titled "★英語論文の読み方: 論理展開を意識して論文を読む" (★ English Paper Reading Method: Reading with awareness of logical flow). The page includes a navigation menu with tabs for "論文の全体像" (Overall structure of the paper), "Abstract", "Introduction", "Results", "Discussion", and "おわりに&おすすめコンテンツ" (Conclusion & Recommended Content). The main content area is divided into two columns. The left column, titled "目次" (Table of Contents), lists sections: "論理展開を意識して論文を読む" (Reading with awareness of logical flow), "論文の全体像" (Overall structure), "Abstract" (with sub-points 1 and 2), "Introduction", "Results", and "Discussion". The right column, titled "英語の論文を読む!", contains introductory text and a cartoon illustration of a person at a laptop. Below this, there is a section titled "論理展開を意識するためには?" (How to be aware of logical flow?), which explains the importance of understanding the logical flow of a paper for research.

図書館TA(Cuter)の業務

3. 学習ガイドの作成

□ 国立国会図書館「レファレンス協同データベース」への一括登録（令和元年7月） 152件

国立大学で初

□ 国立国会図書館からの評価

「テーマがバラエティに富んでいるうえ、各ガイド内の情報も充実しており、図書館TA (Cuter) が主体的に作成しているという点でもユニーク」

⇒ 図書館TA(Cuter)の活動成果を全国的にアピール

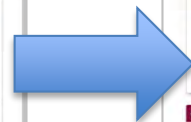
レファレンス協同データベース
Collaborative Reference Database

トップ > 検索結果一覧 > 調べ方マニュアル詳細

調べ方マニュアル詳細 (Detail of search guide data)

【転記用URL】 http://crd.ndl.go.jp/reference/detail?page=man_view&id=2000026313

提供館 (Library)	九州大学附属図書館 (3110021)	管理番号 (Control number)	KYUG-775117
調べ方作成日 (Creation date)	20170328	登録日時 (Registration date)	2019年07月02日 00時3分
		更新日時 (Last update)	2019年07月02日 00時3分
調査テーマ (Title of the search guide)	★英語論文の読み方		
調べ方 (Contents of the search guide)	九州大学附属図書館 Cute.Guides【九州大学附属図書館では自律的な学びを支えるため、図書館職員や大学院生の図書館TA(Cuter)が学習ガイドを作成しています。内容については、以下のURLをご覧ください。 https://guides.lib.kyushu-u.ac.jp/paper_reading Cute.Guidesへのリンク		
NDC			
参考文献			



九州大学附属図書館 Kyushu University Library

英語論文の読み方: 論文展開を意識して論文を読む

★英語論文の読み方: 論文展開を意識して論文を読む

目次

- 論文展開を意識して論文を読む
- 論文の構成
- Abstract
- 【英語】 Abstractを構成しよう
- 【英語】 Abstractを読もう
- Introduction
- 【英語】 Introductionを読もう
- Results
- 【英語】 Resultsを読もう
- Discussion
- 【英語】 Discussionを読もう

このガイドでは、研究室に入ったら、英語の論文を読むことは必須です。論文を読むときには「読解的に読め！」なんてよく書かれますが、それは書かれても難しいし、さらに、長くない文章がツラツラと読んでいて、英語の論文が苦手... という人は多いのではないのでしょうか？

このガイドでは、研究室に入ってから、英語の論文を読むことは必須です。論文を読むときには「読解的に読め！」なんてよく書かれますが、それは書かれても難しいし、さらに、長くない文章がツラツラと読んでいて、英語の論文が苦手... という人は多いのではないのでしょうか？

このガイドでは、研究室に入ってから、英語の論文を読むことは必須です。論文を読むときには「読解的に読め！」なんてよく書かれますが、それは書かれても難しいし、さらに、長くない文章がツラツラと読んでいて、英語の論文が苦手... という人は多いのではないのでしょうか？

図書館TA(Cuter)の業務

4. 学生交流イベント

平成30年度 11回実施 参加者合計193名

- ✓ 学部・学府・学年の垣根を越え研究交流を図る学生団体Quriconと協働した学際交流会
- ✓ 新中央図書館の開館を記念したトークイベント「きゅうトーク！」
- ✓ 本学の各分野の教員が選んだ「九大100冊」に焦点を当てた読書会

- 教員・大学院生・学部生による対話の場を形成
- 学生が視野を広げて考えるきっかけを提供
- 図書館TA(Cuter)自身の企画力・調整力向上



テーマをもとに
おすすめの本を展示する
『Cuter本棚』も各館で開催
(平成30年度 計10回)

直接的な教育活動を通じた人材高度化

- H23年度～ 大学院統合新領域学府ライブラリーサイエンス専攻（新設）
 - H24年度～ 文学部司書養成課程（復活）
 - H25年度～ 科研「学修環境充実のためのエデュケーショナルライブラリアン育成支援システムの開発と評価」に協力
- 図書館職員が直接的に大学院や学部の教育活動に携わることで、学習・教育支援に関する資質を向上させながら、人材の高度化を進める

LSSの授業に協力



「レファレンスサービス論」の授業風景

今後の課題

- プロジェクトから定常的業務へ
- 図書館による研究支援とは？
- ニーズとのマッチング／ニーズの掘り起こし